

これだけは覚えよう！重要ポイント

xが1増えると

yはa増える

傾き

$$a = \frac{y \text{ の変化}}{x \text{ の変化}}$$

規則性

yの差が一定 = 1次関数

Q. 表から1次関数を見つけるには？ xが1増えたときyの増え方が一定なら1次関数。

① 表の読み取り

基本

xが1増えるごとにyがいくつ増えるか調べる。

$$x : 1, 2, 3, 4 \quad y : 3, 5, 7, 9 \Rightarrow +2$$

② 傾きを見つける

方法

yの増加量が一定なら、それが傾きa。

$$y \text{ が } +2 \text{ ずつ} \Rightarrow a = 2$$

③ 切片を見つける

方法

x=0のときのyを読むか、式から逆算する。

$$y = 2x + b, (1, 3) \Rightarrow b = 1$$

④ 式を立てる

まとめ

傾きと切片から $y=ax+b$ の形を作る。

$$y = 2x + 1$$

💡 ミス回避のコツ

⚠️ xの間隔を確認しない

✖

$$x=1, 2, 4 \text{ で } y \text{ が等差}$$

○

xの間隔が一定か確認

xの間隔が均等かを確認。不均等なら変化の割合で計算。

⚠️ 増加量と値を混同

✖

$$\text{傾き} = y \text{ の値}$$

○

傾き = yの増加量

傾きは「yの増加量」であり、yの値そのものではない。

最終確認チェックリスト

- 表からyの増加量を読み取れるか？
- 増加量が一定なら1次関数だと判断できるか？
- 表から式を立てられるか？